

東京工芸大学工学部、 2024年度にドローン国家技能資格を単位認定 —2025年度には新応用科目も新設予定—

東京工芸大学（学長：吉野弘章 以下本学）工学部（所在地：神奈川県厚木市）は、2024年度から、学生が在学中に無人航空機（以下、ドローン）関連の国家技能資格「一等無人航空機操縦士」「二等無人航空機操縦士」の取得を履修単位として認定します。さらに、資格取得後の応用科目も2025年度から開講する予定です。



本学は、2023年にAUTC（先端技術無人航空機トレーニングセンター、横浜市西区、代表：伊藤婦三子）に認定された「AUTC東京工芸大学ドローン・サイエンス研究会支部」を設立。大学内のグラウンドと地上7階建ての体育館内部で、学生のドローン資格取得をサポートしています。

この取り組みの一環として、単位認定取扱規程の一部変更を行い、2024年4月から「一等無人航空機操縦士」を取得すると2単位、「二等無人航空機操縦士」を取得すると1単位が学生に付与されます。

2025年度からは、ドローン資格取得後の先につながる応用科目として、「フォトグラメトリとLiDARの基礎」（2年生対象、2単位）および「無人航空機と画像センシング」（3年生対象、2単位）を新たに開講します。学生がドローンを用いて取得した画像から、3Dモデルの構築やインデックスマッピングを学べる内容となっています。

このほか、3月31日（土）に予定されている本学工学部のオープンキャンパスでは、「デモ飛行見学」と「学生による資格取得経緯の説明」、さらには「ドローンフライトシミュレータと3D構築ソフトの体験」などが行われる予定です。これは、ドローン国家技能資格に興味がある受験生に向けたものです。

本学は、日本初の写真専門の高等教育機関として1923年に誕生し、テクノロジーとアートを融合させた教育・研究を推進しています。建学の精神を継承しつつ、ドローン技術を活用した撮影、SfMを用いた画像処理（フォトグラメトリ）、測量、3D構築・造形などの分野で社会に貢献できる人材の育成を目的に、本研究会の活動を展開していきます。

■ 無人航空機操縦者技能証明（国家資格）

無人航空機を飛行させるために必要な技能（知識及び能力）を有することを証明する資格制度です。

【URL】<https://www.mlit.go.jp/koku/level4/license/>

■ 株式会社先端技術無人航空機トレーニングセンター（AUTC）

無人航空機の操縦ライセンスに関する講習機関の運営および教育・指導・資格認定等を実施。学ぶ意欲のある学生に対してドローン国家ライセンス取得をしやすい環境を実現するために、教育機関に支部を開設し支援しています。以下のような取り組みにより、学割価格で資格を取得できるためのサポートをしています。

- ・開始までの準備期間のフォロー（学内での指導者育成と体制の構築）
- ・支部になる場合の登録申請を含む膨大な資料作成と許可・実施するまでのすべてのサポート
- ・運営開始後の事務負担と監査対策の作業を本部に集約
- ・学内支部講師の育成（一等・二等）
- ・教習用機体（本来スクールでしか買えない機体の購入サポート）
- ・実地教習・修了試験実施のための空域申請許可
（学校敷地内は人口集中地区になるため、訓練のためでも個別申請が必要）
- ・効果的な実地教習カリキュラム作成 など

【URL】<https://www.autc.jp/>

■ 東京工芸大学のドローンに関する活動

【URL】

- ・ <https://www.t-kougei.ac.jp/manabi/engineering/itc/85017.html>
（2022.2.26 社会人として'第二の刃'になる!と将来を見据えて挑戦）
- ・ <https://www.t-kougei.ac.jp/manabi/engineering/85527.html>
（2023.5.9 ドローンで撮影した動画が公開されました）
- ・ https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2023/05/tokyo_polytechnic_university_drone20230522.pdf
（2023.05.22 ドローン国家ライセンス取得のための登録講習機関 活動開始）



本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp